愛知県環境学習等行動計画2030 進捗状況の把握について（案）

1　定性的な評価について

（1）　評価対象・把握方法

行動計画 2030 初年度であることから、試行的に「五つの力」のそれぞれの力に１つの事業を対象とし、事業実施後のアンケートにより評価していく。
（詳細は、「２『五つの力』が育まれたかの具体的な把握方法について」参照）

（2）　把握した結果の活用

該当する設問にYesと回答した理由やエピソードについて、県Webページなどで発信するとともに、事業の改善に活かしていく。

【参考：行動計画2030における評価対象の主な事業例と指標例】

五つの力	評価の対象とする主な事業例	指標例	
		成果（アウトカム）指標例	活動（アウトプット）指標例
体感する力	幼児などを対象とする自然体感プログラム提供事業	・新たな気づきや発見が得られたか等	・プログラム参加者数 ・プログラム実施回数
理解する力	小中学生などを対象とする、環境問題を幅広く取り上げる各種講座の実施事業	・環境問題を自分のこととして捉えられたか等	・講座参加者数 ・講座数
探究する力	高校生などを対象とする調査研究的な事業	・物事を他の側面から捉え、次の疑問や課題を見つけられたか等	・調査研究等を行う高校生等の参加者数 ・参加者による取組や取組成果の発信回数
活用する力	大学生などを対象とする課題解決型の事業	・自分のすべきことに必要な知識やスキルに気づいたか等	・課題解決等を行う大学生等の参加者数 ・参加者による取組や取組成果の発信回数
共働する力	連携・協働の促進やコーディネートを行う事業	・他者と共働することの価値を感じられたか等	・連携・協働に関する講座・イベントの参加者数 ・コーディネート事業等により行われた協働授業の数

資料2

２「五つの力」が育まれたかの具体的な把握方法について

○「体感する力」

行動計画 2030 での位置づけ	評価の対象とする主な事業例	成果（アウトカム）指標例
	幼児などを対象とする自然体感プログラム提供事業	新たな気づきや発見が得られたか等
平成 30 年度における評価（案）	評価の対象とする事業	アンケートでの設問例
	子ども自然体感推進事業「もりの学舎ようちえん」（親子向け、年６回） 資料 1-7　事業番号 19	各回の内容に合わせた設問により把握 （下記例参照）

【例】

今回の体験をふりかえって

・今回のテーマは「ムシ」でしたが、今まで皆さんにとって虫はどんな存在でしたか？

例：ちょっと苦手だった、大好き、触れない、意識したことが無い等

保護者の方【　　】

お子様　　【　　】

・今回の体験を通して何か変化がありましたらお書きください。

保護者の方【　　】

お子様　　【　　】

・体験中のお子様の様子などから何か気づきがあればご自由にお書きください。（普段との違いなど）

【　　】

・今回の体験から、家族でやってみよう、おうちでもやってみたい、と思ったことはありますか？

【　　】

○「理解する力」

行動計画 2030 での位置づけ	評価の対象とする主な事業例	成果（アウトカム）指標例
	小中学生などを対象とする、環境問題を幅広く取り上げる各種講座の実施事業	環境問題を自分のこととして捉えられたか等
平成 30 年度における評価（案）	評価の対象とする事業	アンケートでの設問例
	あいち環境学習プラザにおける環境学習講座（生活環境に関わる内容のもの） 資料 1-7　事業番号 23	下記例参照

【例】

今日のお話の中で、自分のくらしに関わりがあるものを見つけましたか？
　□見つけた（見つけたこと：　　）
　□見つからなかった

今日のお話を聞いて、環境を守るために「これからは、やってみよう！」と思ったことがあれば、教えてください。

　今日、一番よかったこと・おもしろかったこと・感動したことや、よくなかったところ・もっとこうしてほしいと思うところは何ですか？

○「探究する力」

行動計画 2030 での位置づけ	評価の対象とする主な事業例	成果（アウトカム）指標例
	高校生などを対象とする調査研究的な事業	物事を他の側面から捉え、次の疑問や課題を見つけられたか等
平成 30 年度における評価（案）	評価の対象とする事業	アンケートでの設問例
	高校生環境学習推進事業 資料 1-7　事業番号 32	下記例参照

【例】

テーマとして取り上げた環境課題を解決するにあたり、取組を始める前には気づかなかった疑問や課題に直面することがありましたか。

□取組を始めてから、新たな疑問や課題に直面した

→　それは具体的にどんなことですか。

（　　）

□取組を始めて以降は、新たな疑問や課題には直面しなかった

○「活用する力」

行動計画 2030 での位置づけ	評価の対象とする主な事業例	成果（アウトカム）指標例
	大学生などを対象とする課題解決型の事業	自分のすべきことに必要な知識やスキルに気づいたか等
平成 30 年度における評価（案）	評価の対象とする事業	アンケートでの設問例
	持続可能な未来のあいちの担い手育成事業 資料 1-7　事業番号 8	下記例参照

【例】

本研究所に参加して、自分の成長につながったこと、得られたことはありますか。

□大いにあった □まあまああった □あまりなかった □全くなかった

上記の回答の内容を教えてください。【複数回答可】

□サスティナブル社会を考えるようになった。
□企業、ファシリテーター、学生など多様な人たちとともに、最良の解決策を考える経験を得た。
□課題解決に向けて、自分に必要な知識やスキルに気づいた。または、その知識やスキルを身に付けるようになった。
□多くの人に共感を得られるよう説明するスキルを得た。
□色々な角度、様々な立場から環境について考えることができるようになった。
□学生同士の交流により、若者の環境ネットワークが広まった。
□その他（　　）

○「共働する力」

行動計画 2030 での位置づけ	評価の対象とする主な事業例	成果（アウトカム）指標例
	連携・協働の促進やコーディネートを行う事業	他者と共働することの価値を感じられたか等
平成 30 年度における評価（案）	評価の対象とする事業	アンケートでの設問例
	環境学習コーディネーターの設置 資料 1-7　事業番号 29	下記例参照

【例】

コーディネート制度を利用してのご感想をお聞かせください。（○はいくつでも）

1. 他の団体に紹介したい
2. 外部の人材を活用する良さを知ることができた
3. 外部の人材を活用する際のノウハウやコツを知ることができた
4. 今後も一部サポートをしてほしい
   （どんな部分でサポートが必要ですか：　　）
5. 活用したくない
6. わからない